

自然のいのちにつつまれて
どいかや・西村敏雄
絵本原画展
2023.4.22(土)-6.25(日)

地球環境への想い
「かものおすめ」と
ウクライナとロシア 子どもたちの絵画
2023.7.8(土)-8.27(日)

愛を紡ぐ一針一針
長尾玲子の刺繍
絵本原画展
2023.9.16(土)-10.15(日)



みどりのゆりかごのたねまきをしよ
めだかの学校の入学式



どいかや 講演会

歌春さんの落語を楽しもう
お田植え落語会



田植えの日

夏版10才のひとり旅



自然の秘密をみつけない
ゲッチョ先生と

えほんの郷の収穫祭
めだかもトンボも鈴虫も
いっしょに音楽会
2023.10.14(土)

木城えほんの郷 2023
めだかの学校のお米づくり



この郷をめぐる
山々の上に
満天の星が輝いていて、
みどりのゆりかごの森に
つまれる水のステージは、
この世でただひとつの
不思議な楽器に変身するだろう
秋の実りの音。風の音。
谷の水の音。虫の音。
今年のまればとの
ミュージシャンは
だれだろう。
自然の音と出会って、
この郷を駆けめぐる
収穫祭の不思議な、
ふしぎな 音楽会の夜。

21世紀のいま、人間よりも弱い

自然の小さな生命に味方することが、
この青い星地球と人間に味方することになるのだ

お花見狂言会

おかしむかし、さくらの
花は、冬の間に山に帰っていた
田(さ)の神さまが、
春になると里に帰ってきて
田んぼの作業をはじめるように
合図を送ってくれる花だったので。
だから人々は花見をはじめ、
農作業のはじまりに田の神を讃え
お米の豊穰を祈って、
芸能を楽しむようになったのです。
えほんの郷の「お花見狂言会」の
夜は、お花見と狂言と農作業の
はじまりが一体に響き合う
「めだかの学校のお米づくり」の
はじまりの夜なのです。

この星とともに生きる
小さな命を見つめて
新開 孝 写真展
2023.10.21(土)-11.26(日)



サトキマダラヒカゲの卵

風や小鳥やアリたちが種子を
まくように みどりのゆりかごの
たねまきをしよう

くらやみ探検隊
くらやみと火のまつり

冬版10才のひとり旅
君は冬の森の中の
枯れ葉のフトンに眠れるか

えほんの郷の
むしむし探検隊
もちつきの日

秋のよろこび
稲刈りの日

ますだくんとはじめてのせきがえ
武田 美穂 絵本原画展
2024.1.4(木)-28(日)



みどりのゆりかごへの想い
黒木 郁朝 展
2023.12.2(土)-24(日)

ねぎぼうずのあさたろう
飯野 和好 絵本原画展
2024.2.3(土)-4.7(日)

